

GOLD EXPERIENCE

～日韓現代金箔絵画～

Contemporary Painting with Gold Leaf from Japan and Korea

開催のご案内

会場： Hyun Gallery（韓国ソウル市） <http://www.hyungallery.com/>

会期： 2010年5月20日（木）～6月6日（日）

※オープニングレセプション：5月20日（木） 18:00～

・出品作家によるアーティストトーク

※ワークショップ「金箔絵画制作体験」：5月21日（金）、22日（土）予定

企画： HRD Fine Art <http://www.hrdfineart.com/>

助成： 公益財団法人 野村財団

【展覧会概要】

韓国・ソウルの Hyun Gallery（ヒョンギャラリー）にて、「GOLD EXPERIENCE」展を開催いたします。本展は、金箔を用いて現代の絵画表現を追究している、日韓の美術作家6人の作品を展示するグループ展です。

金箔を使った絵画表現は、西洋・東洋どちらにおいても古代・中世からの長く豊かな歴史を持ちます。西洋においてはテンペラ技法を用いた聖像画・イコン、モザイク壁画などにおいて、また東洋においては障壁画や漆絵などにおいて、それぞれの美学や美的感覚、また宗教や哲学を背景として、技術技法を発展させてきました。東洋における金箔の貼り方と、西洋における金箔の使用方法は、美術史の中で全く異なる発展を遂げていきますが、近代ヨーロッパでは19世紀末にジャポニスムの一部として金箔を用いた表現が取り込まれ、また東洋ではキリスト教布教のために黄金背景のイコンが大きな役割を果たすなど、東西文化のクロスオーバーを象徴するものとして捉えられる側面もあります。

絵画の背景をなす脇役として捉えられることも多い金箔技法ですが、単なる背景としての機能にとどまらず、あるときは宗教的な荘厳さを示すために、また奥行きのある空間を表出するため、またあるいは所有者の威光や権力を誇示するために、金箔が果たしてきた積極的な役割は決して見過ごすことはできません。

本展覧会は、西洋と東洋で全く異なる進化をしてきた「絵画における金箔」の伝統的な技術技法を受け継ぎ、また同時にそこに美術の歴史の意味や必然を読み取りながら、現代における絵画表現に取り込もうとしている日本と韓国のアーティストたちの作品を通じて、現代美術における技法材料の側面に新たな光を当てることを目的としています。また同時に、金箔に込められてきた思想や精神性、メッセージなどにも目を向けながら、美術の長い歴史につながる21世紀の絵画表現の可能性について思いを巡らす機会を提供することをも目的とします。

本展は、アートコンサルティングオフィス HRD FINE ART の企画により、韓国ソウルの Hyun Gallery にて開催いたします。ソウルでの開催後は、日本国内（会場・会期末定）に巡回し開催する予定です。

何卒ご高覧賜り、またご喧伝いただけますよう、よろしくごお願い申し上げます。

お問い合わせ： HRD FINE ART（エイチアールディー・ファインアート）

〒602-0896 京都府京都市上京区上御霊堅町 494-1

<http://www.hrdfineart.com/> / info@hrdfineart.com

【出展作家紹介／略歴】

ソン・ジョンドク (Jungduk Song)

- 1961 テグ生まれ
1985 弘益（ホンイク）大学大学院西洋画科修士課程修了
2003 東京芸術大学美術研究科油画研究室客員研究員
2009 東京芸術大学油画保存修復研究室客員研究員
現在テグ在住

主な個展

- 2004 青木画廊（東京）
2006 「MANIF 12!」 ソウル・アーツ・センター（ソウル）
「現代美術の還元と拡散」 ソウル・アーツ・センター
2007 金輪ギャラリー（東京）（2009 も）

主なグループ展

- 2002 「ABSENCE」 Gallery Korea（ニューヨーク）
2004 「表層の内側」東京芸術大学美術館（東京）／テグ市民会館（テグ）（2005、06、07 も）
「光化門国際アートフェスティバル」世宗文化会館（ソウル）（2005、06、07、09 も）
2005 「美術と数学の交感」サビナ美術館（ソウル）
2007 「絵画の見方」サビナ美術館（ソウル）
「眼」青木画廊（東京）



ソン・ジョンドクは、西洋中世から伝わる黄金背景テンペラ絵画の技術を基礎に、シュールレアリスム絵画に通じる象徴性を備えた、物語性にあふれる独自の絵画作品を制作している。

パク・ヒョンジュ (Hyunjoo Park)

1968 ソウル生まれ
1991 ソウル大学美術学部西洋画専攻卒業
1993 ニューヨーク大学大学院修了 (美術修士)
2002 東京芸術大学大学院博士課程修了 (美術)
現在ソウル在住

主な個展

1993 80 Washington Square Gallery (ニューヨーク)
1994 Gallery Icon (ソウル)
1998 小林画廊 (東京)
1999 Keumsan Gallery (ソウル)
2001 「新世代の視点」(セゾンアートプログラム企画) 小林画廊
2002 DNA-Die Neue Aktionsgalerie (ベルリン)
ギャラリー風 (大阪) (2004 も)
2003 Gallery In (ソウル)
2005 Crecloart Gallery (フィラデルフィア)
2006 SADI Window Gallery (ソウル)
2008 Sun Contemporary (ソウル)
2009 「Diagram of Light」 VIT Gallery (ソウル)

主なグループ展

2003 「Dancing Color」 Gallery Sang (ソウル)
「SQUARE」 Keumsan Gallery
「Exploration of Light and Color」 ソウル・アーツ・センター
「Sense and Sensitivity」 プサン市立美術館 (プサン)
2004 「Joy of Contemplation」 Sun Gallery (ソウル)
「Over the Rainbow」 Space C (ソウル)
2005 「Beyond Artifice」 蚩尤金属工芸館 (ソウル)
「Art Camp in India」 (ムンバイ)
2006 「Korean Contemporary Artists 5」 Galley Kong (ソウル)
2007 「Infuse」 Gallery Velvet (ソウル)
2008 「Up to the Minute」 Korea Art Center (プサン)
2009 「韓国現代美術に見る文化多様性」 Sophia Art Gallery (ソウル)
「Sensitivity and Abstraction」 Cyart Gallery (ソウル)

作品収蔵

東京芸術大学 (東京)
デリム美術館 (ソウル)

◇ ◇ ◇

パク・ヒョンジュは、テンペラ絵画における金箔の技術を専門的に研究し、そこから発展させた絵画や半立体の作品を制作している。幾何学的な形態と豊かな色彩、また金の輝きや反射を通して、「光」とその精神性を表現する。

白河 ノリヨリ (Noriyori Shirakawa)

1969 東京生まれ
1993 東京芸術大学油画専攻卒業
1995 東京芸術大学大学院修士課程修了（油画技法材料研究室）
現在愛知在住

主な個展

1996 銀座スルガ台画廊（東京）
1997 銀座清月堂ギャラリー（東京）（1998 も）
2004 伽藍洞ギャラリー（名古屋）
2006 銀座ごらくギャラリー（東京）

主なグループ展

1995 「三人展」 銀座清月堂ギャラリー（東京）
1997 「二人展」 新宿全労済ホールギャラリー・スペースゼロ（東京）
2001 「ART FORM OF JAPAN」 The Suan Dusit Art Gallery（バンコク）
2002 「三人展」 長谷川空間創造会社（東京）
「New Traditonal Art」 シルパコーン大学アートセンター（バンコク）
「三人展」 伽藍洞ギャラリー（名古屋）
2003 「葵の会」 銀座スルガ台画廊（東京）（2004、05、06、07、08、09 も）
「FIELD OF NOW 形象改革」 銀座洋協アートホール（東京）
2005 「TEN by 展 10×10・小さな宇宙」 ギャラリーアルファ（名古屋）他巡回
2006 「CONNECT [Impression on Paper]—紙上の印象」 シルパコーン大学アートセンター
2009 「オクターヴ」 伽藍洞ギャラリー（名古屋）

作品収蔵

在日本ペルー大使館（東京）

◇ ◇ ◇

白河ノリヨリは黄金背景テンペラ絵画などの技法研究に取り組むかわら、古代史や神話のイメージを取り込んだ作品など、光と記憶を象徴的に結びつけた作品を、画材研究に裏付けられた緻密な技術によって制作している。

安喜 万佐子 (Masako Yasuki)

- 1970 大阪生まれ
1994 京都精華大学大学院美術研究科修了
2001 アーティスト・イン・レジデンス／英国立エジンバラ・カレッジ・オブ・アート（大阪府芸術家交流事業「ART・EX」による派遣）
2004 ゲスト・アーティスト／アムハースト・カレッジ（米マサチューセッツ州）
現在京都在住

主な個展

- 1993 ギャラリー16（京都）（1995、97、98、99、2005、09 も）
2000 「real/time」ギャラリーエアンドウ（東京）
2001 ギャラリー手（東京）（2005、06 も）
Sculpture Court Gallery at ECA（英国・エジンバラ）
2002 「Edinburgh Project」大阪府立現代美術センター（大阪）
2003 ベイスギャラリー（東京）
2006 キュービックギャラリー（大阪）

主なグループ展

- 1991 「京都アンデパンダン展」京都市美術館（京都）
「タブラ・ラサ展」京都四条ギャラリー（京都）
1994 「国際交流展」京都国際交流センター（京都）
1995 「field book - drawings」ギャラリー自由空間（大阪）
1996 「Painting - being makes ripples」ギャラリー16
1997 「絵画の方向 '97」大阪府立現代美術センター（大阪）
1998 「京都市新鋭美術選抜展 '98」京都市美術館
「絵画の方向 '98」大阪府立現代美術センター
「揺籃する位置」大阪府立現代美術センター、広島ロキシーサイドミュージアム（広島）、神戸アートビレッジセンター（神戸）
1999 「VOCA 展－新しい平面の作家たち」上野の森美術館（東京）
2000 「京都市新鋭美術選抜展 2000」京都市美術館
「INCUBATION 00」京都芸術センター（京都）
2001 「京都府美術工芸選抜展」京都文化博物館（京都）
2002 「VOCA 展－新しい平面の作家たち」上野の森美術館
2004 「フラットプラット展」神奈川県民ホールギャラリー（横浜）／CASO（大阪）
2005 「City-net Asia 2005」ソウル市立美術館（ソウル）
2008 「崇高から不気味なものへ」CASO（大阪）
「Out of Sight, Still in Mind」Gallery Hangil（韓国・パジュ）



安喜万佐子は風景をテーマに、時間の蓄積と記憶の抽象化を視覚的に表現した絵画を一貫して制作している。東西の様々な画材や技法を取り入れ、近年は金箔を用いた作品にも取り組んでいる。

木村 了子 (Ryoko Kimura)

1971 京都生まれ
1997 東京芸術大学院修士課程壁画専攻修了
現在東京在住

主な個展

- 1997 「半地下多目的スペース」 リュ・プラス (東京)
2002 スパンアートギャラリー
2003 「女性上位時代」 ヴァニラ画廊 (東京)
2004 「ステンドグラス浪漫」 そごう神戸本店アートギャラリー (神戸) 他 4 会場巡回
2005 「Beauty of My Dish - 私の男体盛り料理」 スパンアートギャラリー (東京)
2007-08 「Prince Come True」 旧ギャラリーエス・ミヅマアクション企画 (東京) / 布查国際当代芸術空間
2009 「Born to be WILD 目覚めろ、野性！」 三瀨画廊 (北京) / 布查国際当代芸術空間 (台北)

主なグループ展

- 2002 「第 1 回ステンドグラス美術展」 名古屋松坂屋美術館 (名古屋)
2003 「アート・アンド・ジェネレーションズ」 スパンアートギャラリー
2004 「東京芸大のガラス作家たち」 東京芸術大学陳列館 (東京)
2005 「伊藤晴雨とその系譜」 ヴァニラ画廊
2006 「眼差しと好奇心」 ミヅマアクション (東京)
「3 人の画家」 兜屋画廊 (東京)
2007 「美男画」 ぎやらりい朋 (東京)
2009 「2nd Art Auction Show」 COEX (ソウル)
2010 「第六屆漢字文化節 『漢字弄潮』 当代芸術展」 中正紀念堂 (台北)

受賞

- 2002 「第 1 回ステンドグラス美術展」 プロ部門・奨励賞

◇ ◇ ◇

木村了子は屏風絵など伝統的な日本画の技法・画法をベースに、現代日本の社会に見え隠れする欲望やタブーを、特に女性の視点から描いた戯画的な作品を制作する。ステンドグラスや版画などにも取り組んでいる。

イ・チオン (Chion Lee)

1978 ソウル生まれ
2002 ソウル女子大学美術学科卒業
2003 北京中央美術学院留学
2007 ソウル女子大学大学院修士課程修了
現在ソウル在住

主な個展

2006 ソウル女子大学 Barhom Gallery (ソウル)

主なグループ展

2002 「New Frontier」 Gongpyeong Art Center (ソウル)
「Young Artist Exhibition」 ソウル・アーツ・センター (ソウル)
2004 「Handicap」 Artlink Gallery (ソウル)
2005 「Cogito」 Gallery OM (ソウル)
「Korean-American Artist Group Exhibition」 Chetenham Art Center (フィラデルフィア)
2006 「Are We Different?」 Dongduk Art Space (ソウル)
2007 「Dream of Midday」 新世界デパートギャラリー (ソウル)
2008 「Wall and Bridge」 Sempio Art Space (韓国・イチョン)
「ASYAAF - When we first met」 旧ソウル駅舎 (ソウル)
「Cogito」 Gallery La Mer (ソウル)
2009 「Cogito」 Gallery Gwang (ソウル)

作品収蔵

ソウル女子大学 (ソウル)

◇ ◇ ◇

イ・チオンは東洋画の箔の技法を取り入れながら、キャンバスやアクリルといった西洋絵画の画材と組み合わせ、伝統にとらわれない抽象的かつ叙情的な絵画空間を創出している。

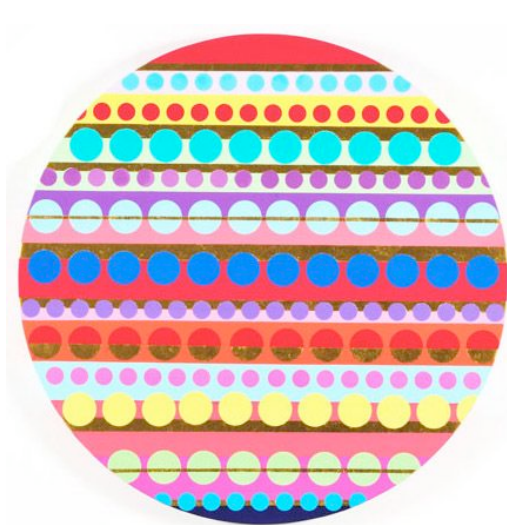
【作品】（※展示作品とは異なるものもあります）



ソン・ジョンドク 「Space for Reminiscence」
テンペラ、金箔／パネル
16.2×20.7cm



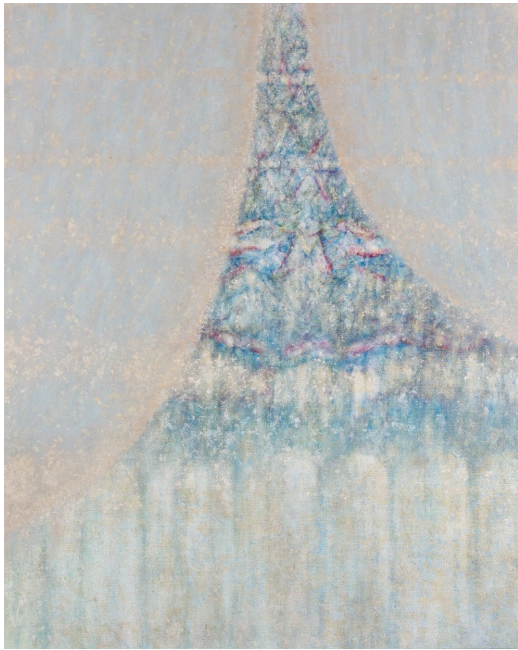
ソン・ジョンドク 「Space for Reminiscence」
テンペラ、金箔／パネル
19×22.5cm



パク・ヒョンジュ 「MA-UM」
ジェッツ、アクリル、金箔／パネル
60×60cm 2009



パク・ヒョンジュ 「MA-UM」
ジェッツ、アクリル、金箔／パネル
60×60cm 2009



白河ノリヨリ「V - C - Light - 2010」
白亜、銀箔、テンペラ、油彩／キャンバス
100×80.3cm 2010



安喜万佐子「(タイトル未定)」
膠、顔料、胡粉、金箔／木製パネルに麻布、ボローニャ石膏
68×90cm 2010



安喜万佐子「(タイトル未定)」
膠、顔料、胡粉、金箔／木製パネルに麻布、ボローニャ石膏
100×140cm 2010



木村了子「デザート 私のケーキ皿」
岩絵具、金箔／雲肌麻紙（二曲屏風）
120×97cm 2005



イ・チオン「不期以遇」
アクリル、パール顔料、接着剤、銀箔／キャンバス
130.3×97cm 2007



イ・チオン「不期以遇」
アクリル、エナメル顔料、金箔／キャンバス
19×24cm 2003